



ー 受講希望者・講座に関心がある方向けの情報共有資料 ー

はじめに | 「ことばの再発明」とは

鳥取で活動するアーティスト、クリエイター、デザイナー、パフォーマーなど広い意味での表現者＝「つくる」人を対象として、活動が続けていくために必要なセルフマネジメントの技術を学ぶ連続講座です。

受講生は**9名の講師との対話**を通じて、表現とことばの関係を見つめ直し、自分の作品や活動を適切に言語化して他者に伝える力を身につけます。

オリエンテーション、講演＆対話4日、成果発表会準備＆講評2日という**計7日間のプログラム**。活動に悩みや迷いを抱えている方、新たな刺激を求めている方、ぜひともご参加ください！

企画 | 鳥取大学地域学部佐々木研究室・佐々木友輔、蔵多優美

令和2年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業



はじめに | 「ことばの再発明」とは

開催概要

1期「アートとことば」

講師 | 後藤怜亜、白井明大、大林寛、西島大介

日程 | 7/22(水)、7/26(日)

8/5(水)、8/9(日)、8/10(月・祝)

会場 | オンライン開催

2期「デザインとコミュニケーション」

講師 | 榊原充大、篠田栞、熊野森人、高橋裕行

日程 | 8/18(火)、8/22(土)

9/2(水)、9/5(土)、9/9(水)

会場 | オンライン開催

オリエンテーション(1期・2期共通)

日程 | 7/15(水)

会場 | オンライン開催

成果発表展(1期・2期共通)

日程 | 9/25(金)～9/28(月)

会場 | Galleryそら(鳥取市栄町658-3 駅前サンロード)

成果発表会(1期・2期共通)

日時 | 9/26(土)14:00-16:30

会場 | 鳥取市中心市街地予定(オンライン配信を予定)

ウェブサイト／お問い合わせ

<http://www.rs.tottori-u.ac.jp/artculturecenter/artmanagement2020/>

目次

1. この講座について

- 1.1. はじめに | 「ことば」の再発明とは
- 1.2. 講座の目標 | セルフマネジメントの困難と向き合い、自分のことばを発明する
- 1.3. 講師の役割 | 教わる／学ぶ関係を超えて、一緒に考え、一緒に悩む
- 1.4. 地域の重視 | 鳥取で「つくる」人のために

2. 講師紹介

3. 開催日程

- 3.1. 詳細日程
- 3.2. 講座の流れ

4. 受講形態について

5. お申し込み・お問い合わせ

この講座について

1. はじめに
 2. 講座の目標 | セルフマネジメントの困難と向き合い、自分のことばを見つけ出す
 3. 講師の役割 | 教わる／学ぶ関係を超えて、一緒に考え、一緒に悩む
 4. 地域の重視 | 鳥取で「つくる」人
のために
-

(1)講座の目標 | セルフマネジメントの困難と向き合い、自分のことばを発明する

現在の日本で「つくる」人のほとんどが、トークイベントやステイメント、プレゼンや助成金申請など様々な場面で「言語化」を求められ、悩んだ経験があるのではないのでしょうか。

ふだんから言葉を用いる小説家や詩人でさえ、それとは別に「説明」や「紹介」の言葉を求められます。ただ「作品」をつくるだけでは作家活動が続けられない。いやでも自画自賛しなければ、制作費や発表機会が得られず、生活もままならないという現状があります。

「語るべきことは作品で全部語っているのに.....」

「言葉にできないから作品を作っているのに.....」

そんな悩みや迷いを乗り越えて、堂々と(あるいはおそろおそろでも)納得いくかたちでセルフマネジメントを実践できるようになることが、この講座の目標です。

(1)講座の目標 | セルフマネジメントの困難と向き合い、自分のことばを発明する

講座のタイトルの元になっている「**車輪の再発明**」とは、すでに普及している技術を一から作り直してしまうこと。非効率で無駄な努力として否定的に見られがちですが、ここでは肯定的に捉え直します。

……そう、たとえば魅力的なプロフィールを用意しなければならないとき。

講師や他の受講生と共にじっくり吟味したことばであれば、たとえ一人で考えたときと一字一句同じ文面になったとしても、その「**納得感**」はまったく違うはず。

そして、ことばを作る経験を積んだ受講生は、自分をアピールするのみならず、優れた鑑賞者としての力を身につけることにもなるでしょう。

文化庁が「アートマネジメントを担う人材」に求める役割、すなわち、それぞれの生きる**地域社会において作り手と受け手をつなぎ、芸術や文化の価値を広く伝える人材とは、他者の作品やことばに粘り強く向き合い、大切に受け取る技術を備えた人のこと**であると、わたしたちは信じています。

(2)講師の役割 | 教わる／学ぶ関係を超えて、一緒に考え、一緒に悩む

ウケの良い企画書の書き方やプレゼンの方法を教えてくれるハウツー本はたくさんありますが、そこで手に入れた言葉と、自分の表現との間にある齟齬や矛盾、もやもやを解消してくれる本や著者には中々出会えません。

「自分で自分の作品を褒めるのは抵抗がある……」

「語れば語るほど嘘をついている気持ちになる……」

そんなふうに悩んでいると、先生や先輩に「ナイーブすぎるのでは？」「いつまでも悩んでないで、割り切って考えなさい」と指摘されることもあるでしょう。

しかしこの講座では、そんな「もやもや」こそを大切にします。

表現とことばの間にある齟齬や矛盾を避けて通るのではなく、真正面から向き合って、納得がいくまで考えることは、作家にとってとても重要な時間だと思うからです。

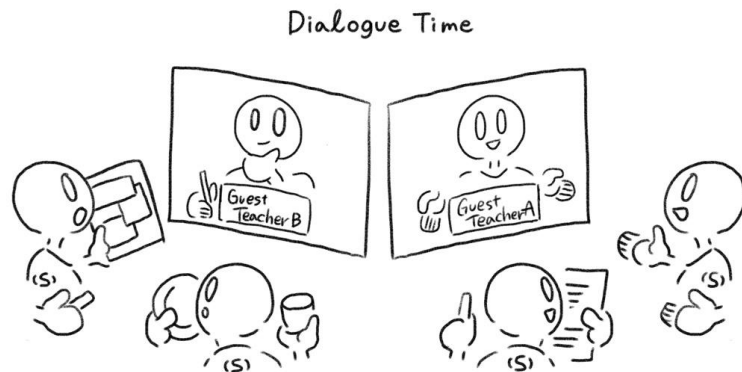
この講座の講師たちは、それぞれ複数の領域を横断して活動し、異なる分野や異なる立場の人にも伝わる言葉を模索してきた方々です。便宜上「講師」としていますが、**一方的に教わる／学ぶのではなく、受講者と問題や悩みを共有し、一緒に悩み、一緒に考える役割**を担っていただきます。

(2)講師の役割 | 教わる／学ぶ関係を超えて、一緒に考え、一緒に悩む

また、自分の作品や活動について踏み込んだ話ができるように、**講師1人につき受講者2人という、少人数での対話の時間を設けました。**

専門学校や大学の卒業後、あるいは所属団体をもたない場合など、作品について語ったり情報交換ができる機会をもつことは簡単ではありません。

この講座がそんな機会の一つになればと思っています。



(3)地域の重視 | 鳥取で「つくる」人のために

最後に、「地域」や「地方」、具体的には「鳥取」についてわたしたちが考えていることを述べておきます。

コロナ禍で多くのイベントが中止になり、代わってオンラインでの開催が増えてきました。この講座も基本的にはオンラインでの開催を予定しています。しかし一見、ネットの利用は地理的な障壁を取り除き、人びとの距離を縮めているようでありながら、実は却って都市と地方の格差を広げている面もあるのではないのでしょうか。

遠方のイベントにも参加が容易になったことで、すでに高い知名度のある講師や権威のある団体のイベントに

観客が集中し、むしろ多様性は損なわれてしまっているように思います。その一方で、物理的に会うのが困難な条件下では、少人数で密なコミュニケーションができたり、講師と仲良くなれたり、知らない作品や作家との思いがけない出会いが期待できるという「地方」ならではのメリットが活かせなくなってしまうのです。

この講座は当初から鳥取在住の方を受講者と想定していましたが、オンライン開講になっても方針は変わりません。県外の方には申し訳ないですが、もしこの試みに関心を持ってくださったら、ぜひあなたの暮らす地域で、同様の試みを広げていってもらえたら嬉しいです。

講師紹介

1. 鳥取運営チーム

- 1.1. 佐々木友輔・蔵多優美
- 1.2. 野口明生・藤田和俊

2. 1期「アートとことば」

- 2.1. 後藤怜亜・白井明大
- 2.2. 大林寛・西島大介

3. 2期「デザインとコミュニケーション」

- 3.1. 榊原充大・篠田葉
- 3.2. 熊野森人・高橋裕行

4. 成果発表会

- 4.1. 近日発表
-

鳥取運営チーム | 共同企画・講師

佐々木友輔(ささき・ゆうすけ)

映像作家

1985年兵庫県生まれ、映像作家。映画・ドキュメンタリー制作を中心として、執筆、出版、展覧会企画など領域を横断して活動。近年の主な長編に『コールヒストリー』(2019)、『映画愛の現在』(2020)、著作に『人間から遠く離れて — ザック・スナイダーと21世紀映画の旅』(noirseとの共著、2017)、「房総ユートピアの諸相—〈半島〉と〈郊外〉のあいだで」(『半島論 — 文学とアートによる叛乱の地勢学』所収、響文社、2018)など。

<http://qspds996.com/>

蔵多優美(くらた・ゆみ)

デザイナー / コーディネーター

1989年鳥取市生まれ。京都精華大学デザイン学部卒業。京都のIT・Web企業で企画制作、広報、営業など幅広く担当した後、2019年にUターン。「"デザイン"を軸とした解決屋」として、ロゴやブック、Webデザインなどの制作、鳥取で『+〇++〇(トット)』や『ヌーン企画』の企画運営に携わる。2019年6月から鳥取大学地域学部附属芸術文化センターにコーディネーター勤務。アートマネジメント講座・事務局担当。

<http://www.rs.tottori-u.ac.jp/artculturecenter/artmanagement2020/>

<http://totto-ri.net/>

<https://scrapbox.io/noon-project/>

鳥取運営チーム | サポートコーディネーター・講師

野口明生(のぐち・あきお)

企画者

1985年鳥取県生まれ。場所や企画など作ったりやったりする人。現在は、鳥取県中部で活動する「現時点プロジェクト」メンバーとして、映像シリーズ「私はおぼえている」などを主にマネジメント方面から手がける。過去に、岡山市にてゲストハウス「とりいくぐる Guesthouse & Lounge」、シェアスペース「NAWATE」、飲食とイベントのスペース「奉還町 4丁目ラウンジ・カド」の立ち上げおよび経営、鳥取県総合芸術文化祭 2019メイン事業「鳥取銀河鉄道祭」事務局など。

<https://www.facebook.com/genjiten2017/>

<https://www.youtube.com/channel/UCBY3TdWR3k01G7Q2xcS-mVQ>

藤田和俊(ふじた・かずとし)

ライター / フォトグラファー / 編集者

1981年鳥取県生まれ、ライター、フォトグラファー、編集者。新聞社勤務(記者としては9年間、運動部と社会部に所属)を経て、2019年よりフリーランスとして活動を開始。ドキュメンタリー取材をライフワークとし、鳥取県智頭町で人と暮らしを紡ぐローカルメディア「脈脈」を立ち上げる。

<https://myaku-myaku.com/>

1期「アートとことば」 | 講師

後藤 怜亜 (ごとう・れあ)

NHK 番組ディレクター

1987年福岡県生まれ。2010年NHK入局。2016年～福祉番組「ハートネットTV」を担当。精神疾患、希死念慮を抱える若い世代に取材を行い、番組を制作。当事者が気持ちを言葉にしシェアするプラットフォームの開発・運営や、民間企業とコラボレートした自殺予防対策のキャンペーンディレクション等を行う。「8月31日の夜に。」制作担当(2017-2020)、オンラインプラットフォーム「夏休み ぼくの日記帳」開発・運営(2018-2020)、客員研究員としてMIT Media Labに在籍(2019-2020)等。

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/>

白井 明大 (しらい・あけひろ)

詩人

1970年東京生まれ。詩人。2004年『心を縫う』(詩学社)でデビュー。東日本大震災後の沖縄移住を題材とした詩集『生きようと生きるほうへ』(思潮社)で丸山豊記念現代詩賞。『日本の七十二候を楽しむ ー旧暦のある暮らしー』(増補新装版、KADOKAWA)が静かな旧暦ブームを呼び、30万部のベストセラーに。詩集に『歌』(思潮社)、『島ぬ恋』(私家版)など。『希望はいつも当たり前で語られる』(草思社)、『島の風は、季節の名前。旧暦と暮らす沖縄』(講談社)ほか著書多数。沖縄在住。

<http://mumeisyousetu.com/>

1期「アートとことば」 | 講師

大林寛(おおばやし・ひろし)

クリエイティブディレクター / 編集者

株式会社オーバーキャスト代表。デザイン思想系メディア「ÉKRITS / エクリ」編集長。情報設計とエクスペリエンスデザインを専門にしたクリエイティブディレクターとして活動。サービス・事業のコンセプトや企画からインターフェースの設計まで行う。書籍『制作へ』『エクリ叢書 I』『Intertwined』『学習まんが アフォーダンス』などの監修。東洋美術学校クリエイティブデザイン科 エクスペリエンスデザイン講師。

<https://overkast.jp/>

<http://ekrits.jp/>

西島大介(にしじま・だいすけ)

漫画家

1974年東京都生まれ、広島在住。2004年に描き下ろし単行本『凹村戦争』(早川書房)で漫画家としてデビュー。代表作に『ディエンビエンフー』(KADOKAWA／小学館／双葉社)『世界の終わりの魔法使い』(河出書房新社)など。2020年「令和元年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援」を受け、個人電子出版レーベル「島島」を設立。自作をせっせと電子書籍化している。

<https://daisukenishijima.jimdofree.com/>

2期「デザインとコミュニケーション」講師

榊原充大(さかきばら・みつひろ)

建築家 / リサーチャー

1984年愛知県生まれ。2007年神戸大学文学部人文学科芸術学専修卒業。建築や都市に関する調査・執筆、提案、プロジェクトディレクション／マネジメントなどを業務としプロジェクトの実現までをサポートする。2008年から建築リサーチ組織「RAD」を共同運営。2019年に、公共的な施設の企画運営のサポートをおこなう「株式会社都市機能計画室」を設立。

<https://radlab.info/>

<https://www.pouf.co.jp/>

篠田栞(しのだ・しおり)

仮面劇作家 / 言葉と企画

1990年、奈良生まれ。京都大学美学専攻卒業。2歳より演劇の舞台に立つ。大学で能楽の虜になり、日本の芸能の身体性をテーマにした作品をつくりはじめる。作家・役者として国内外のプロジェクトに参加しながら、副業会社員として広告、デザインの会社につとめ、この春脱サラ。現在は作家活動に加え、フリーのプロデューサーとして、個人や企業の成し遂げたいことを言葉と企画でサポートする仕事に注力している。

<https://www.shiorishinoda312.com/>

<https://mumokuteki.com/hallevent/hallevent-4164-3-3>

<http://hospitale-tottori.org/program/invisible-propaganda-performance/>

2期「デザインとコミュニケーション」講師

熊野森人(くまの・もりひと)

クリエイティブディレクター

1978年大阪生まれ。株式会社エレダイ 2 代表取締役 / クリエイティブディレクター。株式会社ゆっくりおいしいねむたいな 代表取締役。京都精華大学非常勤講師。京都芸術大学非常勤講師。2020年は食時間のウェルビーイングをテーマに「リラックスできるカレー」を開発中。著書に、うまくやる ~コミュニケーションが変わる25のレッスン~(あさ出版 / 2019年)

<https://eredie2.jp/>

<https://slowlyyummysleepy.jp/>

<https://umakuyaru.life/>

高橋裕行(たかはし・ひろゆき)

キュレーター

1975年生まれ。キュレーター。慶應義塾大学環境情報学部卒、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS) 卒。主な企画展に「動き出す色の世界」「影のイマジネーション～星降る夜の魔法使い～」展(SKIPシティ映像ミュージアム) など。著書に『コミュニケーションのデザイン史』(フィルムアート社、2015年)がある。多摩美術大学非常勤講師。慶應義塾大学 SFC研究所所員。

http://filmart.co.jp/books/design/communication_design/

成果発表会 | 講師

近日発表

開催日程

1. 詳細日程

1.1. オリエンテーション(7/15)

1.2. 講座

1.2.1. 1期「アートとことば」(7/22～8/10)

1.2.2. 2期「デザインとコミュニケーション」(8/18～9/9)

1.3. 成果発表会

1.3.1. 成果発表展(9/25～28)

1.3.2. 成果発表会(9/26)

2. 講座の流れ

2.1. 1期フローチャート

2.2. 2期フローチャート

詳細日程

オリエンテーション(7/15)

- ・日時 | **7/15(水)19:00-20:30**
- ・会場 | オンライン開催(受講生へ別途お知らせいたします)
- ・内容 | 鳥取運営チーム(佐々木・蔵多・野口・藤田)の4名と

受講生16名(予定)との顔合わせ、本講座に関する詳細情報共有など

講座 | 1期「アートとことば」(7/22～8/10)

DAY 1-2

講演 | 7/22(水) 19:00-20:30

対話 | 7/26(日) 13:00-17:00

ゲスト |

後藤怜亜(NHK 番組ディレクター)

白井明大(詩人)

会場 | オンライン開催

(受講生・聴講生へ別途ご案内いたします)

DAY 5

日時 | 8/10(月・祝) 19:00-21:30

会場 | オンライン開催(受講生へ別途ご案内いたします)

DAY 3-4

講演 | 8/5(水) 19:00-20:30

対話 | 8/9(日) 13:00-17:00

ゲスト |

大林寛(クリエイティブディレクター / 編集者)

西島大介(漫画家)

会場 | オンライン開催

(受講生・聴講生へ別途ご案内いたします)

講座 | 2期「デザインとコミュニケーション」(8/18~9/9)

DAY 1-2

講演 | 8/18(火)19:00-20:30

対話 | 8/22(土)13:00-17:00

ゲスト |

榊原充大(建築家 / リサーチャー)

篠田栞(仮面劇作家 / 言葉と企画)

会場 | オンライン開催

(受講生・聴講生へ別途ご案内いたします)

DAY 3-4

講演 | 9/2(水)19:00-20:30

対話 | 9/5(土)13:00-17:00

ゲスト |

熊野森人(クリエイティブディレクター)

高橋裕行(キュレーター)

会場 | オンライン開催

(受講生・聴講生へ別途ご案内いたします)

DAY 5

日時 | 9/9(水)19:00-21:30

会場 | オンライン開催(受講生へ別途ご案内いたします)

成果発表会

成果発表展(9/25～28)

会場 | [Galleryそら](#)(鳥取市栄町658-3 駅前サンロード)



成果発表会(9/26)

日時 | 9/26(土)14:00-16:30

会場 | 鳥取市中心市街地予定

* オンライン配信を予定しています

講座の流れ

1期フローチャート

オリエンテーション

7/15

DAY① 講演 7/22(水)19:00-20:30

- (1)後藤伶亜 活動紹介
- (2)白井明大 活動紹介
- (3)後藤伶亜×白井明大 対話

まずは2人の講師がどんな人なのか知しましょう。
対話テーマは「わたしとことばの距離感」。

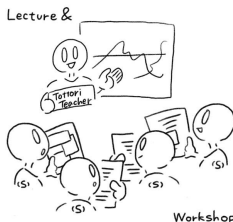
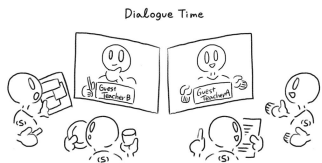


Online Guest Talk

DAY② 対話 7/26(日)13:00-17:00

- (1)グループ分け
- (2)後藤伶亜×受講者 対話
- (3)白井明大×受講者 対話
- (4)ミニ講座&WS

2人1組に分かれ、ローテーションで人の講師と対話をする時間を設けます。
自分自身の作品や活動を紹介した上で、
悩み相談や進路相談をしてみたり、
アドバイスやアイデアをもらったり。
なんでも講師に聞いてみよう。
待ち時間には、コーディネーターによる
講座&WSを実施します。



Workshop

DAY③ 講演 8/5(水)19:00-20:30

- (1)大林寛 活動紹介
- (2)西島大介 活動紹介
- (3)大林寛×西島大介 対話

もう1セット、行ってみよう！
新たに2人の講師が登場します。

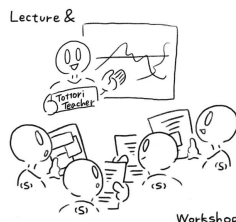
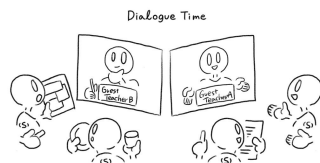


Online Guest Talk

DAY④ 対話 8/9(日)13:00-17:00

- (1)グループ分け
- (2)大林寛×受講者 対話
- (3)西島大介×受講者 対話
- (4)ミニ講座&WS

些細なことでも構わないので、
気軽に話してみてください。
自分の制作や活動を振り返り、
新たな一歩を踏み出す機会に。



Workshop

DAY⑤ 成果発表会準備 8/10(月)19:00-21:30

成果発表会に向けて、
必要な準備や役割を確認します。

成果発表会 9/25(木)～28(月)

於 Gallery そら
受講者の作品および活動紹介テキ
スト(ポートフォリオ、zine等)を展
示します。
9/26(土)14:00-16:30には、
2人の講師を招いて講評会を実施
予定。



Gallery Exhibition

2期フローチャート

オリエンテーション

7/15

DAY① 講演 8/18(火)19:00-20:30

- (1) 榊原充大 活動紹介
- (2) 篠田菜 活動紹介
- (3) 榊原充大×篠田菜 対話

まずは2人の講師がどんな人なのか知しましょう。
対話テーマは「あなたに伝えるためのことば」。



Online Guest Talk

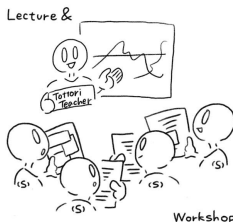
DAY② 対話 8/22(土)13:00-17:00

- (1) グループ分け
- (2) 榊原充大×受講者 対話
- (3) 篠田菜×受講者 対話
- (4) ミニ講座&WS

2人1組に分かれ、ローテーションで人の講師と対話をする時間を設けます。
自分自身の作品や活動を紹介した上で、
悩み相談や進路相談をしてみたり、
アドバイスやアイデアをもらったり。
なんでも講師に聞いてみよう。
待ち時間には、コーディネーターによる
講座&WSを実施します。



Dialogue Time



Lecture &

Workshop

DAY③ 講演 9/2(水)19:00-20:30

- (1) 熊野森人 活動紹介
- (2) 高橋裕行 活動紹介
- (3) 熊野森人×高橋裕行 対話

もう1セット、行ってみよう！
新たに2人の講師が登場します。



Online Guest Talk

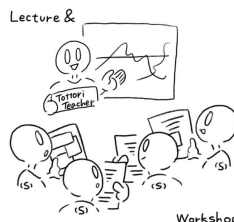
DAY④ 対話 9/5(土)13:00-17:00

- (1) グループ分け
- (2) 熊野森人×受講者 対話
- (3) 高橋裕行×受講者 対話
- (4) ミニ講座&WS

些細なことでも構わないので、
気軽に話してみてください。
自分の制作や活動を振り返り、
新たな一歩を踏み出す機会に。



Dialogue Time



Lecture &

Workshop

DAY⑤ 成果発表会準備 9/9(水)19:00-21:30

成果発表会に向けて、
必要な準備や役割を確認します。

成果発表会 9/25(木)～28(月)

於 Gallery そら
受講者の作品および活動紹介テキ
スト(ポートフォリオ、zine等)を展
示します。
9/26(土)14:00-16:30には、
2人の講師を招いて講評会を実施
予定。



Gallery Exhibition

受講形態について

1. 受講生（鳥取県在住者限定）
2. 聴講生（鳥取県内外）
3. アートマネジメント講座・コース受講認定要件

受講生(鳥取県在住者限定)

受講生は、以下の日程の継続参加が可能な「鳥取県在住者」とします。

・オリエンテーション | 7/15(水) 19:00-20:30

・講座 | 1期5日間または2期5日間

※原則5日間すべてご参加ください(ただし平日の講演回は録画の視聴が可能です)

※異なる期の講演にも参加できます(受講認定要件には含みません)

・成果発表展での展示および講評会(成果発表会9/26)の参加

※本講座は当初より「鳥取県在住者」を受講対象と設定しており、オンライン開催でも同様の方針とさせていただきます(詳細は「この講座について」をご覧ください)。なお、県外の方も「聴講生」としてご参加いただけます(詳細は次頁)。

※定員を16名と設定しており、人数が多い場合は、選抜を実施する可能性があります。予めご了承ください。

聴講生（鳥取県内外）

聴講生は、以下の日程の継続参加が可能な者（鳥取県内外は問いません）とします。

講座内講演の聴講

- ・7/22(水) 19:00-20:30
- ・8/5(水) 19:00-20:30
- ・8/18(火) 19:00-20:30
- ・9/2(水) 19:00-20:30

※他の日程にはご参加いただけません。

※定員を30名とし、先着順・「鳥取県在住者」優先とさせていただきます。予めご了承ください。〈本講座は当初より「鳥取県在住者」を受講対象と設定しており、オンライン開催でも同様の方針とさせていただくためです（詳細は「この講座についてをご覧ください）」〉

※成果発表会のオンライン配信（予定）は別途お知らせいたします。

アートマネジメント講座・コース受講認定要件

・『ことばの再発明』は、鳥取大学地域学部附属芸術文化センター主催「[地域を知り、地域で実践するアートマネジメント講座2020](#)」の実践活動編の1つとして実施されます。コース受講生として参加する場合の認定要件は以下の通りです。（個別受講は特に認定要件を設けていません。鳥取県内外問わずご参加ください。）

・鳥取県内の方

→「受講生」として参加

・鳥取県外の方

→「聴講生」として参加

お申し込み・お問い合わせ

1. お申し込み方法

1.1. 申込締切: 7/9(木) 17時

2. お問い合わせ先

お申し込み方法

<https://forms.gle/Q9SVLqu1E3q1id526>

上記の専用申込フォームに情報を入力しお申し込みください。(申込締切:7/9[木]17時まで)

※「[地域を知り、地域で実践するアートマネジメント講座2020](#)」の参加申込フォームからお申し込みいただいた方は、こちらから改めてお申し込みください。

※7/9(木)以降は、講座内講演のみお申し込みを受付いたします。各日程の1週間前までに
<https://forms.gle/bK7uSR1wanAYoEPbA> からお申し込みください。

(希望するプログラムをチェックする際に「その他」に聴講したい講座内講演の日程をご記入ください)

お問い合わせ先

「ことばの再発明」に関するお問い合わせ・お申し込み

kurata-y@tottori-u.ac.jp（蔵多）

「地域を知り、地域で実践するアートマネジメント講座2020」

に関するお問い合わせ

artma-info@ml.rs.tottori-u.ac.jp（事務局・蔵多）



ー ご応募や成果発表展・会へのご参加お待ちしております ー